

令和4年度公益財団法人下松市文化振興財団事業計画書

1 令和4年度基本方針

新型コロナウイルス感染症の流行は、市民の文化活動の縮小や施設の利用制限等、文化芸術及び文化施設を取り巻く環境にも様々な影響を及ぼしています。

また、長引くコロナ禍で、新しい生活様式を踏まえた非接触を考慮した事業を展開するにあたり、デジタル化の対応は急務となっています。デジタル化が急速に進む現代社会にあって、文化芸術の世界では、他の業界と比較し、デジタル化への対応が遅れているのが現状です。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、施設の利用予約・申請手のオンライン化、電子チケットやキャッシュレス決済の導入が求められるようになり、また、文化芸術作品の動画配信などの取組も広がりを見せ、文化芸術の世界においてもデジタル化が急速に普及しつつあります。中でも、動画配信サービスは、自宅に居ながらにして鑑賞の機会を享受できることから新たな客層の開拓に繋がるなど、文化芸術の発信力向上の手法としてある一定の効果をもたらしたといえます。とはいえ、実際に目で見て、耳で聴いて、手で触れて体験し、そこから感動や楽しさを覚え、心の豊かさや創造力を育むことが、文化芸術の本来あるべき姿といえます。そのためにも、文化的な活動に直接触れる機会が失われることがないように、文化施設として文化活動が安全で安心な環境の中で培われ、より活性化するよう事業展開するとともに環境整備に努めます。

次に、約2年に渡るコロナ禍で、文化活動及び参加が制限されており、以前のような環境に戻るにはかなりの期間を要することが懸念されます。については、下松市を始めとした関係機関の協力を仰ぎ、速やかな文化活動の復興に向けた有効策（鑑賞料金の割引サービス、文化活動活性化への助成金制度、文化事業を行う際の会場費等の助成）を検討します。

文化事業については、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、先行きが不透明なため、以前のように計画通りに進めていくのは非常に困難な状況です。しかしながら、このような危機的状況下においても、文化芸術の灯を絶やさぬよう、地域の文化団体を始め関係機関等との連携を密にとり、感染予防・感染防止対策に万全を期し、活動の場と発表の場を提供するとともに、財団主催事業においても内容や日程調整等の柔軟な対応を行うことで、安定した文化芸術の鑑賞の場を提供できるよう努めます。

次に、本市に限らず全国的に文化団体の高齢化が進み、文化の継承者が育成されていない中、早期文化教育の必要性が増していると考えます。地域に根差した伝統芸能の体験や文化芸術に触れる機会を提供するため、教育機関において、下松市文化協会及び地域文化団体による出張公演や出前講座等の実現に向けた準備に取り組みます。

また、少子高齢化が進む中、高齢者の文化芸術への参加意欲を高め、活動の場を創出することが、地域の文化活動の振興に寄与すると考えることから、鑑賞型事業のチケット割引適用や高齢者の文化サークル活動への助成など有効な施策を検討します。

市民の誰もが公平に文化芸術に親しむことができるよう、地域文化団体等の協力のもと市内の保育園、幼稚園及び福祉施設等への訪問コンサートを実施し、ホール以外の場における文化事業の展開を図ります。

市民の文化活動の発表及び参加の場をより多く提供できるよう、引き続きハート・フロアーコンサート、ワークショップ及び住民参加型事業を積極的に展開し、文化による市民交流の促進と下松市における文化芸術の振興を図ります。

この他、普段の生活の中において、文化芸術に触れる機会や参加するきっかけづくりとして、隣接する商業施設の催事スペースを活用したワークショップや作品展示等を企画し、買い物ついでに気軽に文化芸術に親しむことができる環境を創出することで、下松タウンセンターが文化の薫り高く、市民の憩いの場となるよう商業施設との連携を強化します。

施設の管理運営については、今後も安全面の向上とランニングコスト削減を推進し、安全で安心な施設を提供できるよう、良好な環境維持に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、昨年度実施した大ホール客席等への抗菌・抗ウイルス加工（5年間効果持続）を始めとした施設利用者への安全安心に係る有効な取組を推進します。

最後に、下松タウンセンターを構成する各社との協同・連携による事業展開を図り、賑わいを創出するとともに、とりわけ防災面においては下松タウンセンターが安全で安心な施設として市民に位置づけられるよう積極的に行政と連動し、自主防災組織の一層の機能強化に努めることで、下松タウンセンターの一員としての役割を果たします。

2 公益目的事業

(1) 主催公演等

市民文化の向上と文化の薫り高いまちづくりを基本理念に、本市で活動する芸術文化団体や地域との相互連携を図るとともに、多種多様な事業を市民協働で実施し、市民が文化芸術に触れる機会を提供します。

①文化芸術の鑑賞の機会を提供するコンサート等の開催

音楽、演劇、芸能等様々なジャンルの舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

○令和4年4月3日

『八神純子 Live キミの街へ ～for all living things～』

○令和4年5月29日

『劇団四季ミュージカル ロボット・イン・ザ・ガーデン』

○令和4年11月6日

『世良公則 Knock×Knock 2022 With 宇崎竜童』

- 日程未定
『森永康夫ピアノリサイタル ～第6回ふるさとコンサート～』
- 日程未定
『室内楽のひとつ in スターピア シリーズVII』

②ハート・フロアでのミニコンサート等の開催

日常のわずかな時間でも市民の皆様に文化を感じていただけるよう、地域の文化団体によるミニコンサートを月1回程度開催し、気軽に鑑賞できる場を提供します。また、ハート・フロア出演団体を中心とした地域の文化団体による市内の保育園、幼稚園及び福祉施設等への訪問コンサートを実施します。さらに、アート展やワークショップの開催等、展示部門における発表の場としての活用を図ります。加えて、市内の保育園、幼稚園児等による作品展を開催します。この他、コロナ禍での新しい生活様式における安全安心に配慮したソーシャルディスタンスコンサートを実施し、市民の皆様に文化芸術を通じて元気をお届けします。

③青少年育成のための文化活動

舞台芸術を無料で鑑賞する機会やコンテスト等で自ら舞台に立つ機会を提供することにより、子どもたちの豊かな感性や創造力を育むとともに、青少年期から文化芸術に親しむ土壌作りに努めます。

- 令和4年5月下旬
『0才からのジャズコンサート』
ニューヨークで活躍するジャズピアニストによる親子で楽しめるジャズコンサート
- 令和4年10月中旬
『スターピアくだまつ青少年育成事業』
市内の中学生を対象に生の舞台芸術鑑賞会（学校巡回公演）を実施
- 令和4年11月中旬
『吹ダン！フェスティバル in スターピア season.5』
県内の高校生以下を対象とした吹奏楽とダンスをコラボしたフェスティバル
- 令和4年12月24日
『KRYクリスマスこどもフェスタ2022』
クリスマスコンサートや演劇等を実施。お子様には、お菓子の詰め合せをプレゼント

④本物の楽器等芸術を体験する機会の提供

音楽をより身近に感じていただくため、大ホールのドイツ製スタインウェイピアノを自由に弾く会を開催します。また、舞台芸術の舞台裏を知る機会を提供するため、舞台設備の準備から操作までの体験ができる教室を開催します。

- 令和4年8月下旬
『スターピアくだまつ バックステージツアー2022』

○令和5年1月13日～15日
『第30回スタインウェイを弾く会』

(2) 文化団体等支援事業

市民の文化活動の活発化と発展を図るため、地域文化団体等が実施する文化振興活動を支援します。

①下松市文化協会の活動支援

○令和4年4月16日
『文化ジョイント2022 第55回下松市民謡曲・仕舞発表会』
下松市文化協会謡曲連盟の発表会を展示ホールで開催し、その会場利用料を助成

②(公財) 美育文化協会の活動支援

○令和4年9月9日～13日
『第52回世界児童画展山口県展』
国内及び海外から応募された子どもたちの絵画作品の内、入選等の作品約300点を展示し、その会場利用料を助成

③下松市吹奏楽団の活動支援

年間を通じて、下松市吹奏楽団の練習会場としてリハーサル室を確保し、その会場利用料を助成

(3) 芸術家(作家) 活動支援事業

市内で活躍する芸術家(作家)の創作活動の発表に対する助成事業を実施します。

○令和4年9月中旬～下旬
『令和4年度芸術家(作家)活動支援事業』
公募により選考された芸術家(作家)の創作作品の展示会を展示ホールで開催し、その会場利用料を助成。昨年度、当活動支援事業は10回目の開催となりました。この事業を継続、活性化させるべく、応募要領の見直しや助成内容の充実に向けた検討を行います。

(4) 施設貸与

地域住民の文化活動の場として、施設を貸与することにより地域文化の振興を図ります。また、財団自らが施設を利用し主催公演を実施することで、市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

(5) その他

自主文化事業の参加者の増加と財団事業の円滑な推進には、財団会員の増加が不可欠です。これまで以上に、会員特約施設との連携を強化し、会員特約施設による会員向けサービスの見直しや新たな特約施設獲得に努め、会員特典の更なる充実を図ります。また、県内の公立文化施設と

の連携を強化し、相互の公演のPRやチケット販売促進に努めます。この他、市民の声を自主文化事業の企画や運営に反映させるため、公演時にアンケートを実施します。

3 収益目的事業

施設の貸館事業を行うとともに施設利用者の利便性の向上を図るため、物品販売等の利用サービス事業を実施します。また、会員のつどいや地域団体と共催で文化事業を実施することにより、会員サービスの充実を図るとともに、地域住民へ文化芸術の鑑賞の機会を提供し、地域文化の振興を図ります。

これらの事業から得た収益は、公益目的事業のさらなる充実を図るために活用します。

(1) 文化施設貸与事業

文化施設の効率的な管理運営を図るため、公益目的外で地域の団体、個人等へ施設を貸与します。

(2) 会員のつどい及び共催事業

会員のための文化事業を開催し、無料招待で鑑賞の機会を提供します。また、地域団体と文化事業を共催することにより、地域住民へ鑑賞の機会を提供します。

○令和4年7月9日

『令和4年度会員のつどい 黒田亜樹&黒田由樹(ピアノ&フルート)』
スターピアくだまつの会員特典事業として実施

○令和4年11月23日

『第20回下松市中小企業勤労者フェスタ』
下松市中小企業勤労福祉協議会との共催により、歌謡ショーや漫談等の公演を実施

(3) 物品販売等事業

施設利用者の利便性を図るため、県内各地の公演チケットを受託販売するほか、文化事業に伴うCD、グッズ等の物品販売及び飲料サービス等を業者に委託し、手数料を徴収します。

4 その他

(1) 防災対策

災害発生時に、職員が迅速かつ適切な対応ができるように保健センターと共同で防災訓練を実施します。訓練により職員一人ひとりが的確な状況判断と行動ができるよう防災スキルの向上を図ります。さらに、利用者や来館者にも防災意識を高めていただくため、主催者との事前打合せの際、災害時の対応について協議するとともに利用者向けの防災・危機管理マニュアルを整備し、啓発に努めます。

近年、地震や台風、豪雨等による自然災害の多発に加え新型コロナウ

ウイルス等の感染症の蔓延に対し、公の施設として市民の安全を確保するため、緊急避難所の開設や感染予防について、関係機関と連携し、防災対策を講じます。

また、下松タウンセンターを構成する各団体と共同で防災訓練を実施し、その反省点を基に、災害発生時の連携や連絡網についてのマニュアルの更新を行うことで、下松タウンセンター自主防災組織のさらなる強化を図ります。

このほか、不特定多数の方が利用する施設である文化会館が、テロの標的となることを想定したテロ対策訓練や不審者侵入時の対応訓練を下松警察署と共同で計画、実施します。

(2) 運営改善

コロナ禍における公演の開催や施設の利用について、財団がこれまで経験し、培ってきたノウハウを基に、公演主催者や施設利用者へ、新型コロナウイルス感染症の感染状況や公演内容、業種に応じて、適切かつ有効な感染拡大防止対策や運営方法を積極的に助言することで、安全安心に配慮した施設利用の促進と文化活動の推進に努めます。

利用率向上を図るため、ホームページ等を活用し、施設のPRに努めます。また、会場利用料及びチケットの支払い方法について、消費市場において急速にサービス規模が拡大し、普及しているキャッシュレス決済の導入を検討します。

このほか、近隣地域及び本市ゆかりの個性ある芸術家や文化サークルによる演奏、創作活動及びワークショップ等の動画配信に向け、機材を整備し、定期的な配信を開始するとともに、昨年度開設したツイッターと本年度新設するインスタグラムを積極的に活用し、財団主催公演や貸館行事の事前PR、これらの公演実績等の情報発信に努めます。

(3) 施設環境保全

常に良好な施設環境維持に努めるため、突発的な故障に対するリスク管理、バックアップ体制の確立と備品の経年劣化、機能劣化を適切に判断し更新スケジュールを作成する等、先を見据えた修繕計画を下松市へ継続的に提案していきます。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、職員による施設・設備の消毒、利用者への施設利用時の換気や手指消毒の徹底等、安全面、衛生面への取組みを強化した施設管理に努めます。

(4) 職員研修

公立文化施設協会や文化庁等が実施する各種研修会への積極的な参加を通じて専門性を高め、文化芸術を支える担い手の育成に努めます。

また、職場内においても業務の遂行に必要な専門的知識・技術の習得や接遇研修を実施し、職員一人ひとりの成長を促し、実践力向上を図り組織力強化に努めます。

市民に親しまれ、気軽に利用できる身近な文化会館を目指して、親切

かつ丁寧な応対を心掛けるよう職員の意識向上に努めます。

令和4年度公益財団法人下松市文化振興財団

自主文化事業計画

開催日	事業・行事名	内 容
4/3(日)	八神純子 Live キミの街へ ～for all living things～	シンガーソングライター八神純子のコンサート キャンディープロモーションとの共催
4/16(土)	文化ジョイント 2022 第 55 回下松市民謡曲・仕舞発表会	文化団体等支援事業の一環として、下松市文化協会の活動を支援。下松市文化協会謡曲連盟との共催により「下松市民謡曲・仕舞発表会」を展示ホールにおいて開催
5月下旬	0才からのジャズコンサート	ニューヨークで活躍するピアニスト、クニ三上による赤ちゃんから大人まで楽しめるジャズコンサート オフィスヨコタとの共催
5/29(日)	劇団四季ミュージカル ロボット・イン・ザ・ガーデン	劇団四季オリジナル作品の伝統を継ぐミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」を実施 KRY 山口放送との共催
7/9(土)	令和4年度会員のつどい 黒田亜樹&黒田由樹 (ピアノ&フルート)	スターピアくだまつの会員特典事業 ジャンルを超えたマルチピアニスト「黒田亜樹」と国内外で活躍するフルーティスト「黒田由樹」のコンサートを実施。会員様無料招待
8月下旬	スターピアくだまつ バックステージツアー2022	スターピアくだまつの舞台業務を体験できる教室を開催
9/9(金) ～13(火)	第 52 回世界児童画展山口県展	文化団体等支援事業の一環として、(公財) 美育文化協会の活動を支援。国内及び海外約 30 カ国から応募された子どもたちの絵画作品約 10 万点の内、入選等の作品約 300 点を展示
9月中旬 ～下旬	令和4年度 芸術家(作家)活動支援事業	地域文化の振興と活性化を図るため、公募により選考された芸術家(作家)の創作活動の発表に対して助成、支援するとともに、その作品を広く市民の皆様に鑑賞いただくことで、市民の文化向上に資することを目的とした事業 芸術家(作家)の展示会を展示ホールにおいて開催
10月中旬	スターピアくだまつ 青少年育成事業	未来を担う子どもたちの豊かな情操を育むため、市内の中学生を対象に生の舞台芸術鑑賞会(巡回公演)を開催
11/6(日)	世良公則 Knock×Knock 2022 With 宇崎竜童	世良公則の全国ツアー。宇崎竜童をゲストに迎えておくる究極のアカコースティックセッション
11月中旬	吹ダン! フェスティバル in スターピア season. 5	山口県内の高校生以下を対象とした「吹奏楽」と「ダンス」をコラボしたフェスティバル KRY 山口放送との共催

開催日	事業・行事名	内 容
11/23(水)	第20回 下松市中小企業勤労者フェスタ	下松市中小企業勤労福祉協議会との共催による公演
12/24(土)	KRY クリスマスこどもフェスタ 2022	毎年大好評のクリスマスイベント クリスマスミニコンサート・おたのしみ抽選会・演劇等を実施。お子様には、お菓子の詰め合せをプレゼント KRY 山口放送との共催
1/13(金) ～15(日)	第30回スタインウェイを弾く会	開館以来実施している大ホールのスタインウェイピアノを一般に開放し、自由に弾いていただく会
日程未定	森永康夫ピアノリサイタル ～第6回ふるさとコンサート～	下松市出身のピアニスト森永康夫のピアノリサイタルを実施 森永康夫ピアノリサイタル実行委員会との共催
日程未定	室内楽のひとつ in スターピアノ シリーズⅦ	下松市出身のヴァイオリニスト相本朋子を中心とした室内楽のコンサートを実施 室内楽のひとつ in スターピアノ実行委員会との共催
随 時	その他事業	ポップス系のコンサートをはじめとする、幅広い年齢層に楽しんでいただける催物を開催予定
年 間	ハート・フロアー事業 *ハート・フロアーコンサート *市内の保育園、幼稚園児等の作品展示 *文化芸術体験ワークショップ	ハート・フロアーにおいて、定期的にフロアーコンサートの開催や、市内の保育園、幼稚園児等の作品を展示。また、文化協会加盟団体等による文化芸術体験ワークショップを実施
年 間	アウトリーチ事業 *訪問コンサート	地域文化団体等による市内の保育園、幼稚園及び福祉施設等への訪問コンサートを実施
年 間	下松市吹奏楽団活動支援	文化団体等支援事業の一環として、下松市吹奏楽団の活動を支援 リハーサル室の会場利用料を助成
臨 時	ソーシャルディスタンスコンサート ハートフル♥コンサート	コロナ禍での新しい生活様式における安全安心に配慮したコンサートを企画することで、文化団体等の活動の成果を発表する場を提供するとともに、市民の皆さまに文化芸術を通じて元気をお届けすることを目的とした事業

※ハート・フロアーコンサート及びアウトリーチ事業については、新型コロナウイルス感染症の収束後に再開します。